

そわにえ Soigner

第6号

2006年7月15日発行

『Soigner（ソワニエ）』とは、
「世話をする・手当てする」という意味の
フランス語です。



発行 / 東京訪問看護ステーション協議会（責任者 森山弘子）
〒162-0815 東京都新宿区筑土八幡町4-17
社団法人東京都看護協会内
TEL：03-5229-1534・1520 / FAX：03-5229-1524

INDEX /

さんぼみち.....	在宅看護視察旅行...
診療報酬改定説明会...	My Relaxation.....
ステーション紹介...	座談会.....
協議会総会報告.....	編集後記他.....



ニュージーランドにて STコスモス・伊波巴子さん撮影

今回の「さんぼみち」はおたんこナースの原作者・小林光恵さんにご協力いただきました。メールで取材の申込をしたところ、快くお引き受け下さいました。

小林光恵さん：1960年生まれ、作家・看護師。

『おたんこナース』（小学館）、『ナースマン』（角川文庫）、などナースの視点で書かれた著作でファンが多い。2005年11月には自身のダイエット遍歴を綴った『「片づけられない女」は太る』（新講社）を出版。



前列が小林光恵さん

後列左から編集協力者・浅尾、広報委員・天木、同・椎名



坂 道

小林光恵



夕方、一日の訪問を終えた看護師のクミコさん（38歳）が、所属している訪問看護ステーションに戻るために自転車を漕いでいます。なんとなくペダルが重そうです。

小さな坂のP坂が視界に入るとクミコさんは、自転車から降り、小さなため息をつき、自転車を手で押しながら歩きだします。そして、心の中でつぶやきます。

＜今日は、P坂がすごく長くて急な坂に見えてしまう＞

P坂を上りきったところにクミコさんの訪問看護ステーションがあり、行き来のすべてにその坂は使われています。充実感いっぱいステーションに戻る日は、P坂がとても短く、勾配も緩やかな坂に見え、意気消沈するため息が漏れ出してしまうような日は陰しく長い坂に見えてしまうのです。クミコさんは今日一日の訪問先での一場面を順に思い出し、ため息を連発します。

と、前方から、見覚えのある女子高生が友達と肩を並べて歩いてくるとクミコさんは気づきます。そして、その女の子が誰だったのかを思い出します。

＜一年前に自宅で亡くなった〇〇さんのお孫さんだわ。訪問の時間の関係で、ごくたまにしか顔をあわせなかったし、会釈しあう程度だった。難しい年代という印象で彼女の笑顔の記憶はないな。でも、一年ですいぶん大人びた感じ＞

「あっ、こんにちわ！」その女の子は立ち止まり、はきはきとした調子でクミコさんにべこりと頭を下げると、友達に「この方ね、おじいちゃんがお世話になってた訪問看護師さん。この方のお陰でおじいちゃんは、じめじめしてた毎日が徐々に明るくからったものになったのよ。看護ってすごいよ」と説明し、改めてクミコさんに「その節は本当にお世話になりました！ 身体こわさないようにしてこれからもがんばってくださいね。さよなら」と弾む調子で言って過ぎていきました。

とてもケアの受け入れが悪かった彼女のおじいさんに、クミコさんは根気よく、あきらめずに取り組んだところ、薄皮をはがすように少しずつ関係がよくなり、ケアの効果も現れてきたのでした。

クミコさんは、ぱっと吹き出すと、自転車に乗り、ぐんぐんと漕ぎ出します。

＜ほんと、彼女のおじいさんは最初のころ、どんなにからった天気でも、本人とその周囲はじめじめとした空気だったのよねえ。最初は挨拶もしてくれなかったのに、一年たったころには、足の親指を指人形みたいに動かして挨拶してくれたのよね＞

クミコさんはこれをきっかけに、これまでのいろんな方の嬉しい手ごたえや感動の出来事をつぎつぎと思い出し、どこからエネルギーがわいてきたのか、P坂を自転車立ち漕ぎで上りきったのです。

社会保険診療報酬・介護報酬の改定説明会

平成18年5月16日火曜日、社会保険診療報酬・介護報酬の改定説明会が東京都看護協会で行われました。すでに4月から改定内容が適応されています。この日の説明会にも訪問看護ステーション、病院施設の管理者の方々が多数参加されていました。

1. 平成18年度診療報酬改定について — 一手厚い看護と高度な看護技術の評価 —

厚生労働省保険局医療課 高階恵美子氏

今回の改定はこれからの看護の大きな飛躍を期待する看護改定と言われています。他の改定部分はマイナス改定が多いのに対し看護に関係する部分はほとんどがプラス改定です。看護の力が評価され、更に期待が大きいことを意味しています。マイナス改定になった他の切り下げ分を看護のプラス改定分に充てることになるため是非大切に使ってほしいです。

診療報酬改定の基本方針の一つとして質の高い在宅医療の充実を掲げています。最期まで責任をもって診てくれる在宅医と訪問看護の連携がなければターミナル期の患者は救われません。そのため在宅療養支援診療所の指定や指定医療機関との連携した訪問看護の内容に加算をつけました。併せて重症度を反映した訪問看護を評価し悪性腫瘍患者等の重症者管理加算が増額されました。精神疾患患者の地域への復帰支援として精神科ショート・ケアが新設されました。

また入院施設ではエビデンスに基づいた専門的看護を評価し褥創ハイリスク患者ケア加算や医療安全対策加算、ウィルス疾患指導料（主にHIV）、喘息治療管理料加算、ニコチン依存症管理料、生活習慣病管理料、がん診療連携拠点病院加算等が新設されました。いずれも指導を行う専任の看護師を置くことや看護師による相談等が求められています。これらは皆さんの日々のケアの積み重ねによる研究結果やエビデンスが評価されたものです。看護が更に飛躍できるものと考えています。

2. 平成18年度社会保険診療報酬・介護報酬 の改定とその運用について

厚生労働省老健局老人保健課看護専門官 島田陽子氏

今回の介護保険法改正の基本視点の一つである「予防重視型システムへの転換」として新予防給付が新設されました。また「サービスの質の確保・向上」として介護サービス情報の公表、ケアマネジメントの見直しにより公正、中

立性を確保しています。

訪問看護に係る改定ポイントとして①サービス体系は介護予防訪問看護と訪問看護の2つに分かれますがターミナルケア加算を除いて単価は同じになっています。②早朝、夜間、深夜の短時間訪問が創設されました。③緊急時訪問看護加算の見直しでは特別管理加算を算定する状態にある利用者に夜間の計画外訪問（2回目以降）に早朝、夜間、深夜加算の算定が可能となりました。④理学療法士が提供するリハビリテーションは「看護」として提供されるものです。看護師の訪問と同様の時間区分での報酬設定をしました。⑤ターミナルケア加算の「前月訪問」の要件を廃止しプロセス重視の要件に変更しました。そのためターミナルケアの提供内容を十分記録していることが要件の一つになっています。厚生労働省から出ている記録のひな形を確認して下さい。

その他、訪問看護に係るサービスとして療養通所介護の創設、短期入所生活介護事業所の利用者やグループホーム入所者への訪問看護があります。夜間看護体制加算（ショートステイ）、医療連携体制加算（グループホーム）はいずれも施設側に加算されます。事前に施設側との契約が必要ですので注意して下さい。

訪問看護ステーション、療養通所介護事業所は助産所に次いで看護師が独立、起業できる事業です。他のサービスと連携し様々なサービスを提供できる拠点として発展してほしいと思います。皆さんの実践が評価されれば、更に良い方向へと制度が改定されていくでしょう。そのことが利用者の為になってゆくはずですよ。

先生方、お二人が「看護への期待が反映した看護改定」と力強くお話され、これからの看護にエールを頂いた思いでした。改定に伴う苦労も多いかと思いますが訪問看護の飛躍のチャンスでもあります。頑張って乗り切ってゆきましょう。

文責：訪問看護ステーションつくしんぼ城北公園

堀村也千世





ステーション紹介

訪問看護ステーション I-Me (アイミー) 羽村

I-Me (アイミー) 羽村について

訪問看護ステーションI-Me (アイミー) 羽村は、羽村市内に初のステーションとして平成11年10月に開設されました。ステーションの所在地はJR羽村駅東口すぐの西友羽村店の2階にあります。買い物フロアーに、訪問看護ステーションがあるというのは当時のスーパー業界でも珍しい試みで市民生活に密着したステーションとしてスタートしました。開設当初の相談や依頼には乳幼児や障害を抱えた人からの依頼が多く、現在でも3才～96才までの幅広い年齢、様々な疾病の方に利用いただいております。

開設当時からの利用者様で当時2才だったお子さんも現在では8才になり、元気に学校に通っていらっやいます。このようにお子様の成長の過程を共に見守っていただけるのは小児在宅ケアの喜びのひとつかもしれません。また難病の利用者様の中には人工呼吸器を装着して車椅子での散歩を週に一度の日課として行っているかたもおり当ステーションは利用者様のご希望に沿えるようお手伝いさせていただいております。

ISOについて

I-Me羽村では平成16年1月母体である特別養護老人ホーム「あゆみえん」が主体となり介護、看護サービスを品質としてとらえ、常に安定したサービスが提供できるようISO9001 (品質マネジメント) の認証を取得しました。品質マニュアルの作成により業務の内容、書類、組織が整理されました。また定期的な内部、外部監査により自浄、向上作用が確立され第三者の監査が入ることが日々の業務への緊張感につながっていると思います。

また、平成18年3月には「かけがえのない地球環境をた いせつな人たちへ、そして未来へ」をテーマに、事業活動が環境に及ぼす影響を考え地域社会に貢献するため介護福祉施設では都内初となるISO14001 (環境) の認証を取得しました。

今後は事業活動を通して、小さなことからひとつづつ積み重ねて環境保全に努めていきたいと思っています。

大切にしていること

I-Me羽村は「人として尊厳をそこなうことなく、介護する方、受ける方の暮らしをサポートし利用者様にとって快適な環境整備を図る」を理念として掲げています。ですから訪問で大切にしていることは、看護師としてどうしたいのかではなくて利用者様やご家族のご希望を第1に考えています。実際には初回の訪問から希望をおっしゃられる方は少ないですが何度も訪問させていただきゆっくりと時間をかけて引き出していけるよう心掛けて援助をさせていた

だいております。訪問看護ステーションI-Me羽村のスタッフ1人1人が訪問看護師としての利用者様への関わりが社会全体での訪問看護の評価につながっていくことを認識しながら日々の訪問を行っていきたいと思います。

I (私は) Me (私に) にはステーション名に私という個人が存在しています、I-Me羽村では個人個人とのつながりを大事に日々の訪問に取り組んでいきたいと思っています。

(管理者 河崎広一)

利用者様からの声

私は、在宅療養5年目のALS患者です。当初は夜間のみバイパップ呼吸器を装着、3年目から常時装着しています。アイミーさんには、在宅療養当初から週に3回訪問していただき、ヘルパーさんとペアでトイレへ移動しての排泄介助、シャワー入浴、症状での全身・呼吸リハを主体に、看護を受けています。患者のことだけでなく、日頃介護している家族の状態にも気配りいただき、訪問中は安心して買い物や行事にも参加可能です。

訪問中以外でも、地震や停電が有った時などにも外出先からでも、呼吸器の動作に問題発生が無かったかなど、安否確認の電話を頂きます。祝日にも快く訪問頂き、休みのない難病患者にとっては非常に心強い存在です。



* 今回のステーション紹介を読んだご感想、ご意見、アドバイスなどがありましたら下記住所、メールアドレスまでお願いいたします。ステーション間での交流を図って行きたいと思っています。



今回ご協力いただいたステーション

社団福祉法人 徳心会 訪問看護ステーションI-Me羽村

管理者 河崎 広 一

〒205-0011 東京都羽村市五ノ神1-8-14

(株)西友 羽村店 2階

TEL 042-570-1200 FAX 042-570-1201

e-mail: ayumien@mse.biglobe.ne.jp

第2回東京訪問看護ステーション協議会総会開かれる

協議会になって2回目の総会が4月18日の14時から17時、看護協会サークル室で開催されました。参加者は約120名、90ステーションが集まりました。今回はその模様をお知らせします。まず、総務会と各委員会の17年度の活動報告がなされました。

総務会

- メンバー 森山会長・山田副会長・玉木理事・吉村理事・川越顧問・宮崎理事（推進委員長）天木理事（広報委員長）・曾木理事（研修委員長）・佐々木理事（ブロック支援委員長）開催回数 9回（平成17年3月8日～平成18年3月9日）。
- 審議事項として、各委員会の委員の推薦・経費の承認・各種関連団体会議等への対応出席・事業の受入及び後援等の決定。
- 各委員会活動の協力・助言等・研修会・情報提供の推進の提案等を行い、モデル事業実施やALS患者の在宅支援・医療機関やデイホームとの連携・訪問介護報酬の改定事項などに対する対応を検討した。総務会での検討により「グループホーム&訪問看護ステーションお見合いの会」を実施。18年2月20日、東医健保会館於103グループホームと52訪問看護ステーションが参加した。

訪問看護推進委員会

- 合計10回の委員会を開催した。
- 《活動内容》
- 1. 平成17年度厚生労働省訪問看護推進事業への取り組み
- 2. 訪問看護推進支援モデル事業「24時間モデル」への支援・協力
- 3. 「多機能化」の企画立案・都との折衝・課題模索
- 4. 「在宅ホスピス研修」への検討
- 推進委員会主催研修の実施
- 平成17年12月19日に東医健保会館にて「訪問看護をめぐる最新情報」として、介護保険制度の改正点・情報開示・医療法の解釈について取り上げた。200名近くの参加者から、関心の高さが伺えた。

広報委員会

- 合計16回の委員会を開催した。初年度ということもあり、協議会になってからの広報活動の内容を検討した。会報誌を年4回発行することとし、会員の皆さんに会員参加型の「楽しく読める会報誌づくり」を第一目標にした。今の「そわにえ」の基礎となるデザインを固めるまで、ボランティアで協力してくれる方を探したり、協力

してくれる印刷会社との関係作りをし、オールカラーで8ページの会報誌の発行資金になるよう、広告主探しもした。現在、毎回3,000部を発行し、会員以外にも、訪問看護に関係する機関、団体にも発送している。また、当協議会を紹介するパンフレット作りもした。ホームページについては業者とも打ち合わせし、見積もりまで取ったが、今の段階は更新など運営する労力が広報委員には過度の負担になることと、今の段階では費用対効果を考えると、時期尚早ではないかという意見で、今の所保留となっている。

研修委員会

- 合計11回の委員会を開催した。また、年間2回の研修の企画・開催を行った。17年度は看看連携をテーマに企画した。特に、病院等施設看護に携わっている方との連携は今後の在宅医療をすすめる上で重要であると考えた。1回目の研修では「退院援助をめぐる課題と地域連携」のテーマでパネルディカッションを行った。パネリストとしてSTの管理者、病院勤務の連携担当の方々に参加していただき、236名の参加をいただいた。（ST60名・病院職員173名・行政3名）参加者アンケートからは、同テーマで研修を継続して欲しいとの要望が多かった。2回目の研修は「訪問看護体験研修」を行った。研修生は病院勤務職員を募った。5日間の研修には、171名が参加し、84STにて体験研修を行った。ST・研修生双方のアンケートからは、体験研修継続の要望が多かった。初の研修形態であったため、申し込み者数等の予測が困難であり、結果、事務手続き上の遅れが生じ、連絡・調整に支障をきたした。
- 次回開催時は今年度の経験を踏まえ企画をすすめる。17年度は、連携のテーマにそって研修を行うことが出来た。



総会の様子

さまざまな連携が求められている中、よりよい連携のあり方を探るための研修の意義は大きいと考える。次年度へつなげてゆきたい。

ブロック支援委員会

- 合計5回の委員会を開催した。各ブロックでの活動状況の報告と支援・情報交換をしている。その他研修会があるときは当日の受付協力をした。
- 17年度の各ブロックの活動を報告した。年間予算を使い切り、足りなかったブロックもあれば、余ったブロックもあった。

《各ブロックの活動報告》

- 中央ブロック(1)：1. 会員との交流会 2. 病院と地域との連携(face to faceの会) パネルディスカッション形式で開催11箇所の病院の参加、ステーションを合わせて54名参加。
- 城南ブロック(2)：「ともに考え、ともに歩む」をスローガンにあげ、交流会、最新情報交換「呼吸リハビリ」講義。
- 城南西ブロック(3)：元気が出るセミナー「訪問看護の現状と将来を語る」、講義「認定看護師から学ぶ緩和ケアの基本」、認定看護師から講義。
- 城西ブロック(4)：年3回運営委員会開催
新宿区：事例検討・情報交換。
杉並区：情報交換。
中野区：呼吸リハビリ・高齢者のシーティング(敷物)と褥瘡予防・老人性うつとケア・地域リハビリにおける作業療法の展開・介護予防の展開・介護予防における訪問看護の課題。
- 城北ブロック(5)：第5医療圏看一看連携を図る筋ジストロフィー患者会と交流会、老人センター看護部長より講演。
- 城東北ブロック(6)：管理者同士の交流会。
- 城東ブロック(7)：活動なし。
- 西多摩ブロック(8)：交流会、フェンタニルパッチの使用法のミニ勉強会、爪を中心としたフットケア、皮膚科医より講義。
- 北多摩ブロック(9)：「サービス情報の公表について」モデル事業体験者より講義、制度改訂にむけ情報交換「フットケアを学ぶ」講義。
- 南多摩ブロック(10)：「退院支援をめぐる課題と地域連携」パネル形式、病院関係者23名出席、交流会、情報交換。

◆ 平成18年度 ◆

事業活動計画

総務会

協議会の事業計画が順調に遂行するために、総務会で調整や企画をする。おおむね2ヶ月に1回の定例会議を行い、

必要時は迅速に会議を持ち対応する。

訪問看護推進委員会

1. 制度改定に伴い、調査や情報提供・交流をおこない、都内の訪問看護ステーションでのさまざまな取り組みなどを共有し、さらに広がっていくような事業を行う。具体的には、次のようである。
 - 制度改定による現場の変化・新しい取り組みの実態把握と情報提供
 - 認知症高齢者グループホームへの訪問
 - 特別養護老人ホームの短期入所者などへの訪問
 - ST(言語聴覚療法士)の訪問
 - 療養通所介護事業の実施状況
 - その他
2. 在宅ホスピス研修の具体化に向けて
在宅での看取りが増えることが予測される中、在宅終末期の方がより充実した生活・生き方が可能になるように、充実した在宅ホスピス研修のあり方を模索し、長期的継続的に研修が実施できるような具体的な内容の検討をし、平成19年度には実施できることを目指す。

広報委員会

昨年度は広報誌の基盤作りを整えることで精一杯でしたが、18年度は季刊誌(年4回発行)として、会員の皆様に「そわにえ」が浸透し、東京で同じ訪問看護ステーションで頑張る仲間の交流の場になる中身になるよう、基礎固めをしていく年にする。「ホームページ開設プロジェクト」の立ち上げの検討と提案。

研修委員会

講義と体験研修を中心に企画を行う。

1. 講義研修
年2回程度の実施テーマは例えば、「地域連携退院時共同指導加算について」「在宅療養支援診療所との連携とシステム化」など、医療保険福祉の動向をふまえ会員の要望にそったものとする。
2. 体験研修
17年度の教訓をふまえ、年1～2回の開催を検討する。少しでも多くの病棟看護師に理解してもらえるよう取り組んでいく。

ブロック支援委員会

活動方針

1. 各ステーションの連携強化を図り、現状と課題を共有する。
2. 協議会加入の増加をはかる。目標値360力所
3. 病院看護師と地域看護師との連携強化を図る。

総会の後、柳原ホームケア診療所の川人明先生より、「家ででの看取り、23年の往診日記より」と言う講演をしていただきました。川人先生は3万回の往診から訪問看護が主導的に在宅ケアを進めてきた話や、末期で亡くなったかたの実例を、情緒深く懐かしむように話され、川人先生の人柄や、北千住の街並みが目に浮かぶような話しぶりにすっかりはまりました。講演会の後には、「在宅での看取りのケア」というテーマでシンポジウムが行われました。シンポジストとして、医師の立場から、国立市医師会長であられる新田クリニック院長の新田國夫先生と、がん性疼痛認定看護師の立場から訪問看護ST北沢の原美幸さん、訪問看護師の立場から訪問看護ST千代田所長の中村洋子さ



シンポジウム（左から川人先生、中村洋子さん、原 美幸さん、新田先生）

ん、川人先生も入り、時間が足りない程、内容の濃いシンポジウムでした。

特に原美幸さんの話は、パーキンソン病のお母様を介護しながら、自分もホスピス病棟で働いた経験を話され、今は在宅のフィールドで働いているが、臨床と在宅の違いは、疼痛コントロールに必要な、薬剤がすぐに準備できなかったりして、病院とは対応の速度が異なるので、何らかの工夫が必要になること。訪問看護師も広く深くそれぞれの専門分野をもっと学習しなければと思いました。中村洋子さんの話は、ケアマネージャーから訪問看護の依頼があった時にはすでに在宅に帰っていて、ケアマネから聞いた病状と今の病状に大きな違いがあり、もう数日で亡くなりそうな状態なのに、本人や家族、主治医の病状把握ができていなく、ようやく主治医とムンテラの段取りをとり、家族が病状説明を聞きに行っている間に、本人は亡くなってしまったという、なんとも残念な実際にあったケースの話をしてくれました。

今後ますます在宅で24時間対応が必要とされる利用者が増えていきます。パートナーである地域の在宅療養を支援する医師と、われわれ訪問看護師が、お互い手をつなぎ合い、病院ともうまくパートナーシップを築いていく必要性を改めて認識させられました。報酬改定もそのような方向性に向いてきました。協力や連携、学習、相互理解がますます重要になってきます。今年度も手をつないで支え合っていきましょう

平成18年度 東京訪問看護ステーション役員名簿

役 職	氏 名	職 名	ブロック
会 長	森山 弘子	社団法人東京都看護協会（会長）	
副会長	矢島 暎夫	社団法人東京都医師会（副会長）	
副会長	山田 京子	浅草医師会立訪問看護ステーション（所長）	
理 事	玉木 一弘	社団法人東京都医師会（理事）	
理 事	吉村 知子	社団法人東京都看護協会（専務理事）	
理 事	宮崎和加子	健和会訪問看護ステーション（統括所長）	
理 事	天木 弘子	上野訪問看護ステーション（管理者）	中央ブロック
理 事	国分加寿美	蒲田医師会立訪問看護ステーション（管理者）	城南ブロック
理 事	佐々木静枝	訪問看護ステーションけやき（管理者）	城西南ブロック
理 事	徳江 幸代*	中野区医師会立なかの訪問看護ステーション（管理者）	城西ブロック
理 事	堀村也千世*	訪問看護ステーションつくしんぼ城北公園（管理者）	城北ブロック
理 事	滝沢 町子	かなまち訪問看護ステーション（所長）	城東北ブロック
理 事	椎名美恵子	訪問看護ステーションみけ（管理者）	城東ブロック
理 事	高山 章子	訪問看護ステーションI-Me（管理者）	西多摩ブロック
理 事	城所シズ子	八王子市医師会立元八王子訪問看護ステーション（管理者）	南多摩ブロック
理 事	曾木はま子	府中医王訪問看護ステーション（所長）	北多摩ブロック
監 事	笠原ケサエ*	元東京都看護協会千駄木訪問看護ステーション（所長）	
監 事	桜井恵美子	城山訪問看護ステーション（所長）	
顧 問	鈴木 聡男*	社団法人東京都医師会会長	
顧 問	川越 博美	聖路加看護大学教授	

（*は新任）

各委員会名簿

会名	氏 名	施 設 名	ブロック	会名	氏 名	施 設 名	ブロック
総務会	川越 博美	聖路加看護大学	顧問	広報	天木 弘子	上野ST	中央B理事
	森山 弘子	東京都看護協会	会長		椎名美恵子	STみけ	城東B理事
	山田 京子	浅草医師会立ST	副会長		堀村也千世	つくしんぼ城北	城北B理事
	玉木 一弘	東京都医師会	理事		鶴沢喜恵子	STコスモス	中央B
	吉村 知子	東京都看護協会	理事		山中 恵子	野崎クリニック	城西B
	宮崎和加子	健和会ST	訪問看護推進委員長	研修	廣瀬 祐子	隅田中央病院	城東B
	天木 弘子	上野ST	広報委員長		曾木はま子	府中医王ST	北多摩理事
	曾木はま子	府中医王ST	研修委員長		徳江 幸代	中野医師会なかの	城西B理事
	佐々木静枝	STけやき	B支援委員長		高山 章子	ST I-ME	西多摩B理事
	事務局				萩原美智恵	自由が丘ST	城西南B
訪問看護推進	宮崎和加子	健和会北千住ST	城東北B		柴田三奈子	豊田ST	南多摩B
	吉村 知子	東京都看護協会	理事		馬籠さとみ	桜台ST	城北B
	国分加寿美	蒲田医師会ST	城南ブロック理事	<p>「事件は会議室で起きているんじゃない！現場で起きているんだ！」とは、あの踊る捜査線での有名なフレーズですが、まさしく、訪問看護ステーションにピッタリな言葉と思ったのは私だけでしょうか。各訪問看護ステーションの現場の声を吸い上げて、発展させていく協議会の役割は大きく、更なる発展のために東京都医師会と東京都看護協会のコラボレーションの実現で、着実に現実化を図っています。制度改正は追い風となり、社会的役割の推進を後押ししてくれました。その役割を担っている委員の方々本当にご苦労様です。求める心を失うことなく、燃焼していきましょう。</p>			
	伊藤 文子	調布医師会ST	北多摩B				
	吉田 廣子	板橋ロイヤルST	城北B				
ブロック支援	阿部 智子	STけせら	中央B				
	佐々木静枝	STけやき	城西南B理事				
	滝沢 町子	かなまちST	城東北B理事				
	城所シズ子	元八王子ST	南多摩B理事				
	赤坂 育子	佐々ST	北多摩B				
	岩井 雅和	ふくろうST	城北B				
	作田 和子	小石川医師会ST	中央B				

(は委員長)

辞任役員

役 職	氏 名	職 名	ブロック
理 事	富田真紀子	中野北ベタニヤ訪問看護ステーション（所長）	城西ブロック
理 事	田中喜美子	元社団法人東京都看護協会城北訪問看護ステーション（所長）	城北ブロック
監 事	横田喜久恵	元慶成会老年看護研究所（所長）	
顧 問	唐澤 祥人	社団法人日本医師会会長	

看護経験5年以上の方、ケアマネにトライしませんか!!

ケアマネ受験対策講座

ここが違う、③つのメリット

〔講習会場：錦糸町・赤羽・西川口〕

- アイ・ヘルパー・スクールの対策講座は全15科目必要な科目だけを選んで受講できるので無駄がありません。
- 難解な“介護保険・高齢者支援サービス”の科目も、当スクール他講座で無料聴講できます。
- 受講できなかった科目については他の科目に変更可能。

“資料請求いただいた方にもれなく1科目無料チケット進呈中!!”

視覚障害・全身性障害
ガイドヘルパー講座
(2日間コース)
毎月開講
看護師の方なら
受講資格あり

アイ・ヘルパー・スクール
(株) アイ・ヘルパー・ジャパン

※詳細は下記フリーダイヤルにてお問い合わせ、またはホームページをご覧ください。

0120-538-533

受付時間 9:00~19:00 (土・日・祝可)

<http://www.i-helperschool.com>



デンマーク・ドイツ・フランスの在宅看護視察旅行②

パリの開業オフィスの 訪問看護師さんと同行して

世田谷区社会福祉事業団 統括担当係長 訪問看護ステーションけやき 佐々木静枝

前回に引き続き、最後の訪問先、パリの訪問看護事情をご紹介します。パリ公立病院協会所属在宅入院連盟の「在宅高度医療事業所」(HAD)と訪問看護振興協会の「在宅看護事業所」などを訪問しました。

「在宅入院」と「在宅看護」

フランスでは、訪問看護は「在宅看護」と「在宅入院」の二つがあります。「在宅看護」は日本でいう介護保険対象の訪問看護に近く、「在宅入院」は在宅高度医療事業(HAD)を行っているところで、医療保険対応です。そこでは、周産期医療、化学療法、モルヒネ輸液ポンプ管理、輸血をはじめとした急性期の高度医療技術・看護技術等を在宅で医療・看護を提供します。医師(10名。往診する医師ではない。連携・指導などに当たる)、看護師(250名)、理学療法士、SW、栄養士などの職員が配置されています。もちろん24時間体制で2交代制です。利用できる期間は20日を限度とされていました。その後は、「在宅看護・介護」に移行し継続的に看護・介護を受けます。「在宅入院」の費用は病院入院と比較して1/2~1/3の負担ですみます。自宅療養の希望は多く、その満足度も高いと伺いました。病院の在院日数短縮に対応する在宅での高度医療を担っています。

開業ナースと同行

パリ中心街から1時間ぐらい離れた開業(NPO)ナースのオフィスを訪問しました。そのオフィスは、住宅街の中にあり、日本で言うならば低層の公団住宅の一角にあるといった感じです(写真1)。20~30坪くらいの少し規模の大きいステーションといった印象を受けました。みなさん笑

顔で歓待し、友好的に受け入れてくださいました(写真2)。早速、同行する看護師さんと車に乗り込み目的地に向かいました。通訳がないながらも、車の中で自己紹介、イザベラさん(写真3)という名前であること、子どもさんは14歳、16歳女の子と男の子であるらしいことはわかりました。私の片言の英語でしたが、共通は看護ですので理解はできるもんですね。

車で閑静な住宅街(成城の雰囲気)を走り、10分後に1件目到着です。車中で1件目訪問のケース紹介がありました。35歳、スノーボード(スケボー?発音聞き取れず)で頸髄損傷。四肢麻痺があり寝たきり生活であることを理解しました。10時40分、家の前で車を止め、グローブを車の中から2枚取り玄関に入ると、看護学生とヘルパーさんが出迎えてくださいました。リビングに入ると彼がいました。自己紹介し東京から来たことを話しました。ケア内容は、排便コントロールと褥瘡管理です。イザベラさんは、お湯、石鹸等を準備し用意されたワゴンに置き、しっかりした肉付きの彼を一気に左側臥位に。コンドームタイプの持続排尿の彼は下半身ヌードでした。(ヘルパーさんにより看護師来訪のため用意されていたのかも。)左側臥位をとり摘便開始、終了すると、ウォシュクロスを袋状にしたものに手をいれ、それを濡らし石鹸をつけお尻を洗います。手の甲になっている面をくるっと返し、それで石鹸分を拭き取り(このやり方頂き!)、そのタオルをすすぎもう一回お尻を拭き、下に敷いてあるスポーツタオルサイズのタオルで水分を拭きます。摘便する前には、思いっきり腹部マッサージを行い摘便、お尻の清拭もスピーディーで手慣れた手つきで、お見事です。その後はヘルパーさんによりシャワーが予定されています。キッチンで手を洗い、隣室にある記

録用紙に記入します。記録用紙にはケア項目がすべて書いてあり実施した項目にレ点をいれ10:45~11:15と時間を記入サインし終了です。利用者の彼は、ハイドロ剤を指差し、私に褥瘡の治療に日本も使っているかと尋ねました。「イエス」と



写真3

写真1
↓



写真2 ⇨



答えると感心した様子でした。

11時05分2件目に出発です。車を走らせること20分、閑静な住宅街から離れた静かな森？の中にひっそりと建っている白い小さな古い老人ハウス（30床）の中庭に車をとめました（写真4）。裏口の職員通用門らしきところから入り、地下のロッカールームで私もディスプレイのガウンを身に着け、置いてある治療物品のはいったバスケット



写真4

を持ち、狭い階段を上がり2階へ。二人部屋に入ると奥に遷延性意識障害？と思われる85歳の男性が一人いびき呼吸でベッド臥床してらっしゃいました。部屋の中にある流しで容器に湯をいれ、石鹸、タオルを準備しワゴンに載せました。コンドーム式留置の交換日のようで、陰部を石鹸で洗い、さっきと同じく石鹸分を取り去りもう一回拭き、新しいコンドームタイプ、収尿袋と共に交換しました。次は、胃瘻ケアです。周囲はスキントラブルで発赤していました。そこは同じく石鹸で洗い、拭い、ガーゼ付き被覆剤と他は軟膏処置で終了。右側臥位にし、褥瘡があり、そこも石鹸で洗い、拭い、ハイドロ剤で処置し、おむつ交換をして終了。その施設で職員とイザベラさんはとても親しく挨拶し、私を紹介してくれました。東京から来たということと感心感激していました。事務室においてある記録用紙にチェックし、11:10～11:50、30分と記入しサインをして地階で着替えホームを後にしました。バルン留置は感染のリスクがあるので使用は控えているとのことで、2件ともコンドームタイプでした。12時を過ぎ、オフィスに戻ると、イザベラさんは通訳に「ササキが訪問先の彼の背中をマッサージしてくれ、彼がお礼を言っていたことを伝えてくれ」といってくださいました。

フランスでは、開業ナースは一人から開業できます。病院での実務経験3年以上あれば、地方公衆衛生局に届け開業看護師になることができます。サービスを提供するには、日本と同じく医師の指示書が必要になります。フランスでは処方箋という呼び名でした。その処方箋に記載されているケアを提供するのが看護師の役割です。日本と大きく違うのは、それらのケアは、医師が指示し、看護報酬点数に結びついていることです。看護師の判断で医療サービスができないようになっています。日本のように包括ではなく、バルン交換は何単位、褥瘡処置は何単位、摘便は何単位という報酬システムです。ケア全てが積み上げというわけではなく、3ケアまでのようです。看護報酬はケア項目だけではなく基本看護などが加算され、細かく医療報酬点数のように点数化されていました。中には開業看護師一人で1日40～50件訪問し稼いでいると報告を受けました。日本の訪問看護費に比べ安いと思いました。看護師の社会的地位は高くは評価されていないそうです。訪問時間は15分、30分が多く、ケア内容からみると日本はその倍の時間ケアを行っています。文化の違いでしょうか。合理的なケアでした。

ミュンヘン、パリの訪問看護師さんに会い、共通していることは「パワフルで、生き生きしていた」ことでした。それは日本の看護師と同じだなと思いました。看護師同士ということなのかどこでも友好的に出迎えてくださったことが印象的でした。貴重な体験をさせていただいた印象的な研修旅行でした。他に付け加えることは、研修後の夜のミーティング？も毎晩盛り上がり、楽しく実りのあるひと時でした。

ミュンヘン、パリの訪問看護師さんに会い、共通していることは「パワフルで、生き生きしていた」ことでした。それは日本の看護師と同じだなと思いました。看護師同士ということなのかどこでも友好的に出迎えてくださったことが印象的でした。貴重な体験をさせていただいた印象的な研修旅行でした。他に付け加えることは、研修後の夜のミーティング？も毎晩盛り上がり、楽しく実りのあるひと時でした。

My Relaxation!

たまには夫婦ふたりで♡

「明日の記憶」に感動しました

渡辺謙さん主演の「明日の記憶」を夫と2人で観て来ました。

これまでの家族の苦労に焦点をあてたものと違い、この映画は認知症の症状がどんな感覚なのか本人の視点で描かれています。通い慣れた道で迷ってしまったり、部下の顔が見知らぬ人に見えてきたりする不安や焦燥感。妻の浮気を妄想し苦悩する様子。怒りと不安で妻を殴ってしまい我に返り「別れてほしい」と泣き崩れるシーン等、認知症患者の苦しさは渡辺謙さんによってリアルに伝わってきました。進行に伴い過去の記憶の世界で生きることが多くなります。苦悩だけでなく妻と出会った頃の楽しい記



憶が現実として蘇ります。現実と過去の狭間で不安と楽しさと不思議な感覚が混在する映像はすごいです!!

認知症をほんとに良く解って作っているなぁと思ったら医療監修は本間昭先生でした。やっぱり……この後の施設での穏やかな二人のシーンはとても暖かく、決して不幸せではない時間が描かれていました。

「認知症ってなに？」と言っていた夫がこの映画を見て後日、照れくさそうにどちらかが認知症や寝たきりになっても介護しようと言い出しました。これだけでも大きな収穫です。

（訪問看護ステーションつくしんぼ城北公園 堀村也千世）

座談会を開きました

「そわにえ」を読み、斎藤尚子さんが投稿してくださったことをきっかけに、20年以上で看護師として病院勤務した後、訪問看護師となって仕事をしている方に、「なぜ訪問看護師の仕事を選んだのか」について伺いました。

司会（椎名）

今回は皆さんにお集まり戴きありがとうございます。訪問看護ステーションの看護師は今まで、病院に数年勤務し、訪問看護を始める人がほとんどでした。今回は20年以上病院勤務したのち、在宅に移ったきっかけと訪問を始めて感じていることなどをお話いただければと思います。

成田文子さん

昭和45年より、慈恵医科大学本院・青戸病院に勤務しておりました。主に、外来勤務でした。平成13年に選択定年をし、訪問看護ステーションに転職しました。

在宅のことは病院に勤務してから長年ずっと頭の片隅にあり、本を読むにしてもターミナルの本とか、外来で患者さんに関わっているとき、この患者さんともっと関わりたいけど、ほかの患者さんもあると思い、いつも不消化な状態がずっと続いていたような気がして、じっくり一人一人に必要なこと看護したいという気持ちをずっと引きずってきました。今回、退職してもいいかな、今この年齢で変わらなければもうできないだろうなと思い、病院を辞めました。

現在私が所属している訪問看護ステーションでは、体験として1日実習を受けることになっています。実習ではいろいろなことを目にして驚きもあり、実際在宅の大変さも始めて知ることが多かったのですが、病院に車いすで来ている人がお家ではこうしているんだと思い目からうろこでした。

1日の実習でしたがすごいと思い、また自分もやってみたいと思い決めました。

その後一人で訪問して、自分の判断でやって、そのままOKとして帰ってきていいのかどうか、改めてやってみて責任の重さを感じてしまう日々です。ご自分もお年になりあそこがいたいここが痛いと言いながら介護しているお家の方を見ていると、少しでもその人たちが良くなるためにちょっとでも手助けになればと思います。利用者さんと病

院ではできなかったような対人間として向き合い、この利用者さんたちのために対等な人間としての付き合いを深めて看護することが、訪問看護でできることだと思いました。

棟方夏江さん

昭和52年より、都立駒込病院に勤務していました。主に病棟にいました。平成16年に退職し、平成18年2月から訪問看護ステーションに勤務しております。

私は自分の父が脳卒中で倒れ、病院に入院していたとき病院から療養型の病院に転院するか在宅に戻るかの選択を提示されました。私は自分の父なので在宅で看ようと思いましたが、家族は「何で家で看るの、病院で良いじゃない」と言われ、「なんで家では看られないの」と思いました。そのギャップから「私は看たいのに、家族は看られないの？—私が看護師だから、家で看られると思うのかしら、寝ているだけで身体を拭くことなど、そんなに難しいことではないのに、」と思いましたが、家族はびっくりしているので家で看るのはだめだと思い、そのまま病院にいました。そのとき「もし家で看るときのノウハウを知っていれば私がいなくても家族で看られるのでは？」と考えると、なぜか悶々として在宅ケアに感心を持ち始めました。父が亡くなったあとも病院勤務は続けていましたが、患者さんになにかもっと人間との関わりの中で十分にやれる看護をしてみたいと思いはじめ、病院ばかりでなく、もっと自分にできる

ことに挑戦してみようと思いました。そして思いきって病院を辞めました。

今訪問しているお家で、足浴をただけで「ありがとう」と本当に気持ちよさそうに言っただけるとき、なぜか不思議な感情がこみ上げてきます。病院でも患者さんにとって良いことをしてあげたい気持ちでいっぱいでしたが、仕事の制約や患者さんには公平にしなければと言うことで、

不十分さを感じていました。訪問看護で100パーセントでできるわけではありませんが、人間と人間の付き合いが在宅にはあると思います。

斎藤尚子さん（『そわにえ』投稿者）

私は看護歴26年目です。昨年1年だけ現役をお休みしています。東京専売病院に17年勤務し、看護教師を8年していました。教師をしていたとき、母の看護をするために教師を辞め、四国に帰り親の看護をしていました。母



を看取ったあと、訪問看護をすることにしました。

母は胃癌でした。父も脳梗塞でふらふらの状態でしたので、在宅で過ごしたいという母の願いをかなえるために、私が母の介護をすることにしました。母を看取ったあと、訪問看護との関わりを考えて、看護人生のあと10年間訪問看護をやってみようと、4月から訪問看護をしています。

教員をしていたときに、各大学病院に生徒を連れていろいろな病院に行きました。終末期看護のあり方について深く考えさせられました。癌患者など病院で過ごすことが多く、自宅に帰れない方が多いのです。でも病院も出ていってくれといわれて、ものすごい狭間のところで学生も私も苦しんでいました。ですから在宅に関してものすごく感心があり、在宅看護の受け皿はどうなっているのか、訪問看護ステーションに学生を連れて行ったりもしました。訪問看護師に関して、情報はありますが、実際の内容はあまり見えてきませんでした。病院にいと幸せなのかというと、幸せのあり方は人それぞれで、やはり皆自宅願望が強く、終末期をどう迎えるかということを少し考えたいなと思っていたところ、母が倒れました。……先ほど棟方さんがおっしゃったように、私の家族にも「えっ！家で看るの、なんで病院じゃいけないの」というものすごい思いがありました。「私は看護婦だから看られるんだ」とかいろいろ言われました。本人の母は自宅願望が強く、68歳で亡くなりました。父が脳梗塞でもうよたよたしていたので、私が母を在宅で最後まで看取りました。そのとき在宅はこれから

だと思いました、まずは経験を積まないといへないだろうと思い、初心に戻り、在宅のメンバーになることにしました。そして在宅から見えるものは何かを見直し自分で体験し、自分で感じてみたいと思いました。

(座談会を終えて)

とても和やかな雰囲気の中、初対面とは思えないほどにお話はずみ座談会を終えることができました。

訪問看護を始めるきっかけとして皆さんに共通していることは、病院勤務中の患者さんへの「思い」でした。診療補助に追われるだけでなく、もっと患者さん一人一人に沿った看護をしてあげたい。患者さんが、自分らしく生きられるような看護ができないものか？そんな思いの積み重ねの中で、それぞれで自身の介護経験が訪問看護の世界へ背中を押したのではないのでしょうか。家族を在宅で看ることの難しさを身をもって実感された棟方さんと斎藤さん。そして今も介護をされている成田さん。病人は病院にいるもの・専門知識や技術がないと家では介護が出来ないと家族が抱く思いと、自宅で過ごしたいと望む患者さんの思い。この相反する二つの思いとの切実な葛藤は、病人を持つ多くの家族が抱え、迷う現実です。しかし、病気になっても、さまざまなサービスを有効利用しながら家で自分らしく生きることが人間の権利です。

長い病院勤務を経て訪問看護の道を選ばれた皆さんだからこそ、今までに培われた確かな看護技術、様々な経験、そして何より患者さんに対する良質な看護への思いを活かして、利用者さんとそのご家族を支えていかれることと思います。

今後も皆さんのご活躍を期待すると共に、私達一人一人が協力して地域で訪問看護を広げて行きましょう。

ありがとうございました。

(座談会は、6月10日、“ワインサロン・トライアル”にて行われました。)



写真左から

成田文子(訪問看護ステーションみけ)、椎名美恵子(同)、斎藤尚子(訪問看護ステーションけやき)、棟方夏江(訪問看護ステーションみけ)、浅尾文恵(編集協力者) 敬称略

チーム医療をめざすナースのために!

看護のための最新医学講座

監修 日野原重明/井村裕夫

オールカラー/B5判/平均420頁/新上製/分売可

全36巻

クリニカルコース24巻/スペシフィックコース12巻

全36巻 定価378,000円(本体360,000円)

クリニカルコース24巻 定価241,920円(本体230,400円)

スペシフィックコース12巻 定価136,080円(本体129,600円)

●1冊からでも注文いただけます(各巻平均10,500円)

中山書店

〒113-8666 東京都文京区白山1-25-14
http://www.nakayamashoten.co.jp/

フリーダイヤルTel. 0120-377-883
フリーダイヤルFax. 0120-381-306



サンプル
ページ集・
パンフレット
進呈中!

エビデンスに基づく看護の総合誌

【季刊】

イービー・ナースィング

EBNURSING

年4回発行(12,3,6,9月)

B5変型判/平均約130頁

(定期購読)年間5,880円(税込)

Vol.6 No.3 特集

摂食・嚥下が困難な人へ
看護はどう貢献できるか
定価1470円(税込)



投稿募集

東京訪問看護ステーション協議会の会報は、会員参加型を目指しています。難しい事を書いて送って下さい、と言っているわけではありません。ステーションや在宅看護とは関係のない笑い話や自慢話、面白かった本や映画、美味しいお店などの話、何でも結構です。また、他のステーションではこんな時はどうしてるの？などの質問でも良いです。

また、編集、取材、デザイン、ホームページ作りにちょっと興味のある方や特技のある方のご協力も大歓迎ですので、気軽にメールしてください。

投稿は、①手書きの原稿をFAXまたは郵便でお送りいただくか、②Wordなどで入力したデータをE-mailに添付してお送り下さい。お写真も掲載可能です。紙焼き、ポジ・ネガ・デジタルメデータ、何でもOKです。但し、Word等に写真を貼られた場合は、「元画像」も一緒にご用意いただくと幸いです。また、貴重な資料や写真の返却を希望される方はその旨必ず明記して下さい。皆様からのご投稿を心よりお待ちしております。

訪問看護協議会 入会募集

東京訪問看護ステーション協議会は、都内で活動している訪問看護ステーションの訪問看護師たちを支援していきます。ご入会を心よりお待ちしております。

7月3日現在の会員数

継続会員 293st 新規会員 30st 合計 323st

「広げよう仲間の輪を！手をつなごう未来のために」

座談会 参加者 募集

今回はじめて座談会を行ってみました。こんなテーマだったら参加したい！など、みなさんのご意見を下記 椎名までご連絡下さい。



編集後記

世界中を熱くさせたワールドカップサッカー。皆さんも盛り上がったと思います。頑張っている人ってみんな素敵ですね。勝利の鍵は……やはりチームワークでしょうか？

さて、今回はじめて、座談会を行いました。参加して下さった皆さんの訪問看護に対する熱い思いが伝わってきますね。今後も頑張っている会員皆さんの意見交換の場として、座談会を企画していきたいと思います。

これから訪問にはつらい照りつく日差しを夏の迎えですね。大変ですが、季節を肌で感じることができるのも訪問看護の魅力の一つかもしれません。夏バテに気を付けて元気に夏を乗り切りましょう。

(広報委員 鶴澤喜恵子)



投稿、広告につきましては、fresca@r3.dion.ne.jp ステーションみけ 椎名までお問い合わせ下さい。

患者様のQuality Of Lifeの 向上がテイジンの理念です。

マスク式人工呼吸療法も
テイジンは豊富なラインナップと、
徹底した管理体制でサポートします。



TEIJIN

■酸素濃縮式供給装置

ハイサンソ[®] シリーズ
マイルドサンソ[®] TO-40S

■携帯用軽量酸素供給システム

ウルトレッサ[®]
+サンソセーバー[®] II

■酸素飽和度モニタ

PULSOX[®] シリーズ

帝人在宅医療東京株式会社

東京第1営業所 TEL. 03-3506-4867
東京第2営業所 TEL. 03-3506-4865
東京第3営業所 TEL. 03-3506-4866

多摩営業所 TEL. 042-538-2515
城北呼吸ケア支援ステーション TEL. 03-5964-6070



選択的AT₁受容体ブロッカー

ディオバン[®]錠 160mg
80mg
40mg

指定医薬品

処方せん医薬品

注意—医師等の処方せんにより使用すること

DIOVAN[®]

薬価基準収載

バルサルタン錠

●禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意については、製品添付文書をご覧ください。

製造販売

(資料請求先)

ノバルティス ファーマ 株式会社
東京都港区西麻布4-17-30 〒106-8618

NOVARTIS DIRECT

0120-003-293

受付時間: 月～金 9:00～18:00

www.diovan.jp